

1 ボランティアの環境と生活

中学2年 吉崎 仁子

—この事業に参加しようと思った理由—

私は小さいころから、世界について興味がありました。ですがロシアに行ってみたい！ロシア語についてもっとくわしくなりたい！というわけではなかったのですが、日本以外の国の環境や生活、全く知らない国の文化など知ることのできる良い機会だと思い、この事業に参加しようと思いました。

[町の風景]



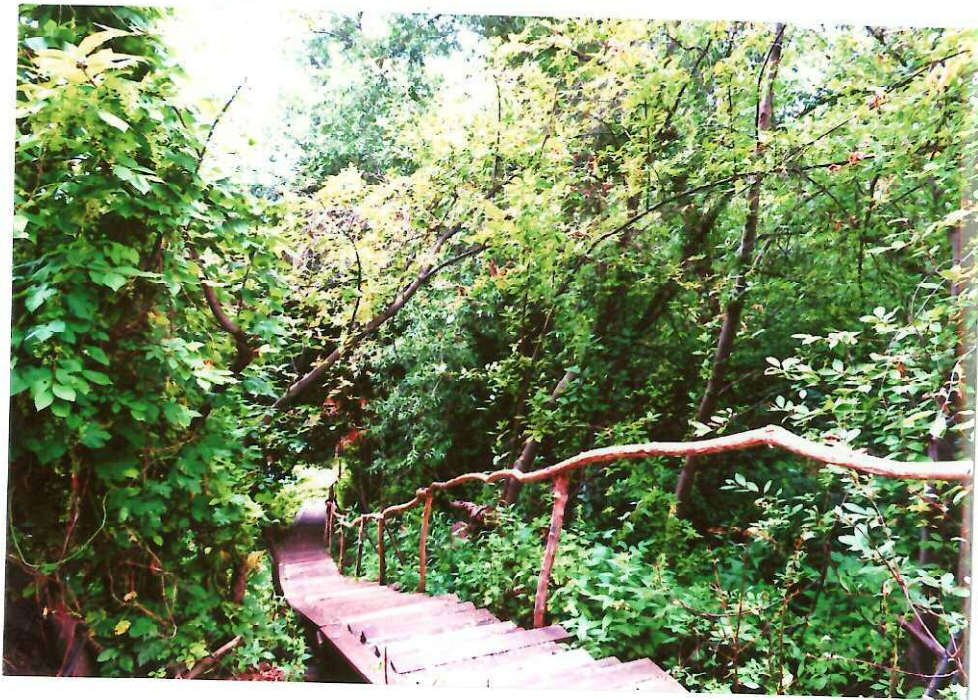
これは町にあるアイス屋さんです。このようなアイスさんは、日本でいう、自動販売機並みにありました。

この日は写真に写っている私のパートナーがわかるように、とても寒い日でした。ですが私のパートナーはこの後3回も、アイスを食べていました。ロシアは冬も寒いので、ハっちゃらたそうです。

アイスの種類は豊富でしたがアイスの

味や味の種類は日本とあまり、かわらないように感じました。また、アイス屋さんで働く人は優しいおばあさんが多く楽しかったです。アイス屋さんのほかにも、ロシアの街中にはゴミ箱がたくさんあり、落ちていたゴミも思ったより、少なかったです。動物園などでは、色々なデザインのゴミ箱があり、ゴミを捨てるのも楽しく感じました。

[環境]



これは、私のパートナーに連れて行ってもらった場所です。この場所がたまたま森だったわけではなく、1ボシビルスクは街中でも森や木が多く、自然が豊かな場所でした。私のパートナーは森が好きで、毎日のように連れて行ってもらいました。毎回毎回違う場所でしたが

たくさんの木や川、湖があり、とても綺麗でした。

歩いて、パートナーの学校に行く機会があったのですが、学校も自然が豊かな森があり、登校のとき、休み時間に遊ぶそうです。

[スーパーマーケット]



私はスーパーで一番びっくりしたのがこのマヨネーズコーナーです。ロシアのマヨネーズの種類は、日本にない味ばかりで、見た時は一瞬目を疑いました。また、このスーパーでは、日本の同じぐらいの大きさのスーパーの3倍ぐらいのパンが売っていました。ほとんどのパンが袋詰めされておらず、その場でつくられたものをそのまま出しているようで、まるでパン屋さんでした。

・姉妹都市交流を終えて

私はこの12日間で、今まで知らなかったロシアの文化や言語、ロシア人の温かさについて知ることができました。私はこれから、今回学んだことを生かして、2年後に会う時のために言語や文化など、今回学ばきれなかったことをしっかり勉強していきたいと思います。